

第6回日本放射光学会 放射光基礎講習会 「初心者のための放射光入門講座」報告

日本放射光学会 行事幹事 篠原佑也 (東京大学大学院新領域創成科学研究科)

日本放射光学会では村上会長の2014年度活動方針に基づいて、放射光科学の裾野の拡大と放射光科学入門者に向けた基礎教育の充実を目的として、各放射光施設およびユーザー団体と協力して放射光基礎講習会を開催しました。今回は「初心者のための放射光入門講座」と題し、2014年8月1日(金)、2日(土)の2日間にわたり、東京大学工学部6号館G3号講義室にて行われました(図1)。7名の先生方に講師をつとめていただきました(図2)。

学会ホームページの事前登録と当日参加とを合わせて64名に参加いただき、講習会会場はほぼ満員となりました(図3)。参加者には本講習会のテキストが配布され、また講師を交えた技術交流会にも無料で招待しました。アルコールは入りませんでした。和やかな雰囲気の中、軽食をとりながら講師への質問や意見交換が活発に行われていました(図4)。

昨年までの講習会が好評であったことから、内容については概ね踏襲し、放射光源の基礎から光学技術入門、さらに回折、分光、イメージングを利用した研究例について講義していただきました。また2014年が国際結晶年であることから、結晶学の基礎についての講義もしていただきました。いずれの講義も素晴らしく、内容はもちろんのこと講義の進め方も含めて、主催者の私も非常に愉しく受講いたしました。講習会プログラムは以下の通りでした。

プログラム

- ・ 8月1日(金)
 - 13:00-13:25 開会挨拶(会長)、趣旨説明(行事幹事)
 - 13:25-14:50 放射光源とは
北村英男(理研名誉研究員)
 - 15:05-16:30 紫外・軟X線による物性測定：物質の何がわかるのか？
松田 巖(東京大学)
 - 17:00-18:30 交流会 於 東大生協第2食堂
- ・ 8月2日(土)
 - 9:00-10:25 結晶学の基礎—IYCr2014を迎えて—
西堀英治(筑波大学)
 - 10:35-12:00 コヒーレンスとX線イメージング
百生敦(東北大学)

第6回 放射光基礎講習会
初心者のための放射光入門講座

日時：2014年8月1日(金)・2日(土)
場所：東京大学本郷キャンパス工学部6号館
主催：日本放射光学会

本講習会では、放射光を新たに活用して研究や開発を始めようとしている学生・研究者の皆さんが、その特性を有効に活用して研究・開発を進めるために必要な放射光の原理・基礎技術を直接学ぶことができます。さらに本講習会で最先端の研究手段としての放射光の特徴やその応用事例を紹介することによって、他分野の研究者にも放射光利用研究の具体的なアイデアを提供します。

講演題目

| | |
|---------------------------|---------------|
| 放射光源とは | 北村英男(理研名誉研究員) |
| ビームライン光学技術入門 | 大橋治彦(JASRI) |
| コヒーレンスとX線イメージング | 百生敦(東北大学) |
| 結晶学の基礎-IYCr2014を迎えて- | 西堀英治(筑波大学) |
| 紫外・軟X線による物性測定：物質の何がわかるのか？ | 松田 巖(東京大学) |
| 放射光X線を用いた構造物性研究入門 | 村上洋一(KEK-PF) |
| 放射光実験の最先端～X線自由電子レーザーが拓く世界 | 足立伸一(KEK-PF) |

定員：75名
申込み締切日：2014年7月27日(定員になり次第締切)

参加費：学会員1,000円、共済団体会員職員2,000円、非会員8,000円
学生会員 無料、学生非会員2,000円
交流会参加費：無料
参加申込み：http://www.jssr.jp/lecture_meeting6/index.html
問い合わせ先：日本放射光学会事務局
E-mail:jssrinfo@jssr.jp TEL:03-5950-4896 FAX:03-5950-1292

JSSR

図1 講習会ポスター(松原行事委員会作)

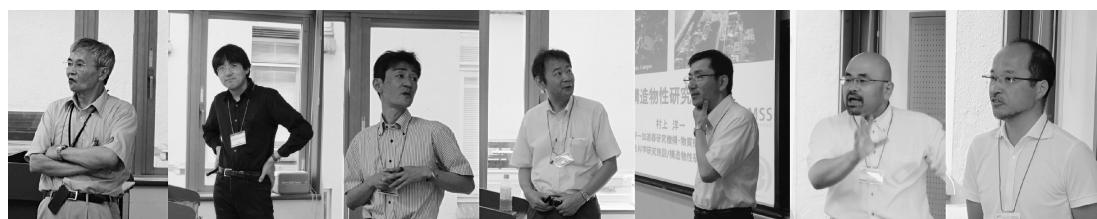


図2 講師の先生方(左より北村英男先生、松田巖先生、西堀英治先生、百生敦先生、村上洋一先生、大橋治彦先生、足立伸一先生)。丁寧な講義をどうもありがとうございました！

- 13:00-14:25 放射光 X 線を用いた構造物性研究入門
村上洋一 (KEK-PF)
- 14:35-16:00 ビームライン光学技術入門
大橋治彦 (JASRI)
- 16:10-17:35 放射光実験の最先端—X 線自由電子レーザーが拓く世界 足立伸一 (KEK-PF)
- 閉会挨拶 (会長)

講習会参加者にはアンケートにご協力いただきました



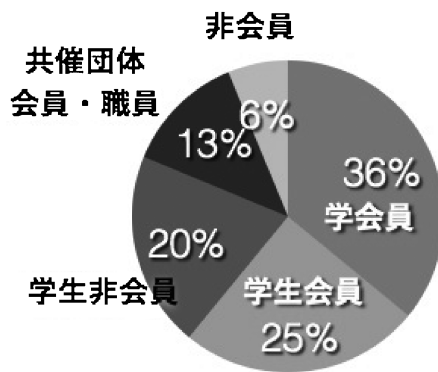
図3 講習会の様子

(アンケート回収率71%)。まず受講者について、図5にその内訳や放射光利用年数をまとめました。参加者は学会員、学生会員、学生非会員が大部分を占め、特に民間企業と学生の参加が多かったという結果になりました。また参加費については会員割引があるため、講習会参加時に日本放射光学会に入会された方もいらっしゃいました。参加者は放射光の未経験者および3年以内の利用者でほぼ占められており、本講習会ではその趣旨通りに初心者の方々にお集まりいただけました。

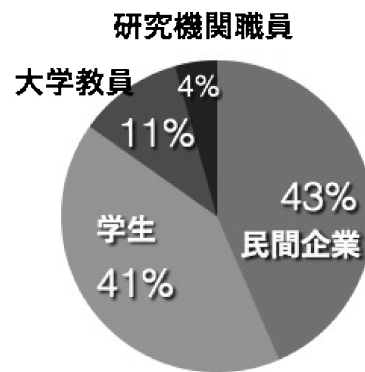
講義に対する参加者の感想ですが、わかりやすさに関してはよく理解できた、おおむね理解できたとされた方が大



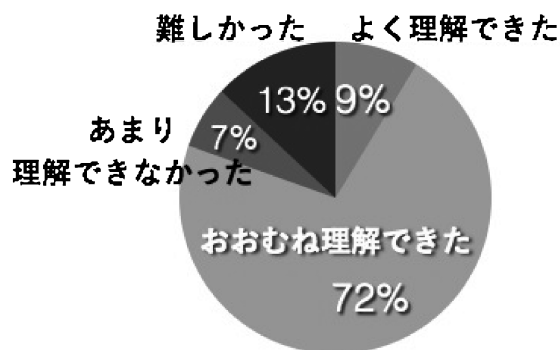
図4 技術交流会の様子



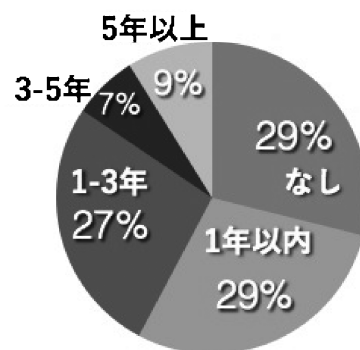
参加者内訳 1



参加者内訳 2



わかりやすさ



放射光の利用年数

図5 アンケート集計結果

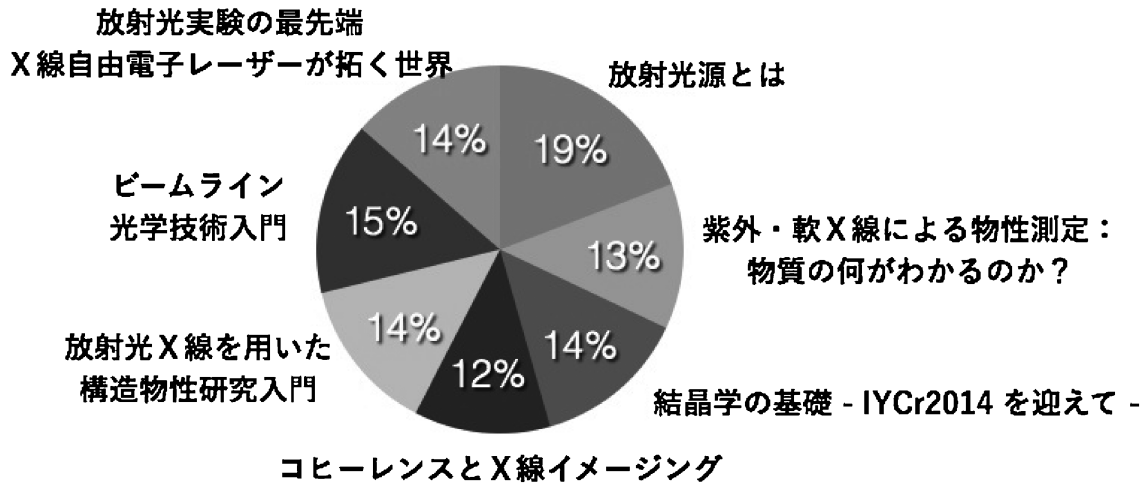


図6 印象に残った講義に関するアンケート結果

勢を占めたものの、あまり理解できなかった、難しかったという回答も2割程度ございました(図5)。ただこれは必ずしも否定的な評価ではなく、具体的な感想を見ますと、「今回の講習会を基にして、より一層と勉強をしていきたいと思った」、「わかっていると思っていたところがわかっていなかったことがわかった」、「これから勉強していくきっかけとなった」という感想が添えられていることが多く、広い意味で入門講座としての役割を果たせたものと思われまふ。その一方で、さらに専門性の高い講座を期待されて参加された方もいらっしゃいました。「印象に残った講義」をまとめたところ、図6のようになりました。選ばれた講義はほぼ均等に分布しており、全ての講義がす

ばらしかったことを反映しているかと思ひます。アンケート意見欄では、講師の先生方の熱意が伝わってきた、話の内容が面白かったなどのコメントを頂戴しました。講習会そのものについては100%の方から「有意義」と答えてもらえました。

最後になりましたが、ご多忙にもかかわらず資料を用意して頂き、魅力ある講義をしていただいた講師の先生方へこの場をお借りして改めて御礼申し上げます。また当日の運営を助けてくれた東大院新領域・雨宮研の学生の皆様、本講習会の事務手続きを円滑に進めて頂いた事務局の佐藤亜己奈様、企画段階から助けて頂いた行事委員の皆様にも深く感謝いたします。